

「リード」ノ相續制度廢止論

(二、完)

READ'S ABOLITION OF INHERITANCE
II (CONCLUDED)

講 師

井 上 周 三

Lecturer S. Inoue

1923

リードノ相續制度廢止論 (二完)

井 上 周 三

働ク者ハ其全結果ニ對シテ當然酬ヒラルベシ、トハ「リード」ノ標語デアル。而シテ彼ハ之ヲ人類當然ノ權利即チ人權(human right) ヲト主張スル、勞セザル者ハ取得スベキラズトハ又コノ語ノ他ノ反面デナケレバナラス。「リード」ガ勞働ヲ伴ハザル財産ノ移轉ハ、其形式ノ如何ヲ問ハズコノ人權ノ侵害ダト叫ブノハ當然ノ歸結ト言ハネバナラス。是ヲ言ヘバ財産相續制度ニ對スル「リード」ノ立場ハ明白トナラウ。此意味ニ於テ「リード」ノ相續廢止論ハ更ニ立法家ニ對スル警告タルト同時ニ又法律家ノ好參考資料タルヲ失ハヌノデアル。從テ其所論ノ紹介ハ意義ノ多イコト、言ハネバナラス。

井上君ハ本誌前號ニ於テ「リード」ノ相續廢止論ノ一半ヲ抄譯紹介セラレタ。本稿ハ即チ其續編デアル。而シテ其譯文ノ檢校ヲ自分ニ託セラレタ、自分ハ一讀其譯出ノ精確ナルヲ知ルト同時ニ亦唆ニ富メル其所論ノ内容ニ感嘆セザルヲ得ナカッタ。序ニ所感ノ一端ヲ附記シテ置キタイト思フ。(大濱信泉)

VI. 兩親ノ情愛ト相續

(原著、pp. 169—189)

余ハ今迄專ラ人權ト經濟的正義ノ立脚地カラ相續問題ヲ考察シテ來タ。然シ乍ラ實ノ處財産相續制存置論者ガ最モ強イ斷定ヲ下ス基礎ハ此ノ見地デハナイノデアル。彼等ハ勞働ト獲得資本ノ其協同生産物ニ對スル法律上ノ權利ヲ認メ又勢ヒ生産ニ干與セザル人々ニ生産物ノ大半ヲ與ヘルコトガ經濟的ニ不正ナルコトヲ承認セザルヲ得ザル立場ニナツタトシテモ猶、彼等ハ情愛ト云フコトヲ以テ盾トスルノデアル。彼等擁護論者ハ云フ、父親ハ恰モ動物ガ幼者ノ爲ニ闘フ如ク其ノ幼兒ノ爲メニ働ク、

デアル。ダカラ莫大ナ相續財産ノ顯著ナ弊害ヲ救濟セムトスル如何ナル計劃モ兩親ガ其ノ愛スル者ノ爲メニ生き且ツ死スル親ノ權利ヲ侵害スルモノデアルト。

人權ニ關スル此ノ見解ハ最モ重要ナルモノデアル。人ガ子孫ノ將來ノ欠乏ニ備フルガ爲メニ働クノダト云フコトガ眞實ナリトセバ子孫ノ安寧ヲ生活ノ源動力トシテ居ル男女ガ此ノ世ニ幾許リアルカラ先ヅ考ヘルノガ本問題ヲ正確ニ理解スル上ニ肝要デアル。

余ハ敢テ斷言スル。苟クモ生ミノ親ニシテ幼兒ノ安寧ヲ生活ノ重大事トシナイ者ハ一人モ此世ニ有リ得ナイ。何處ヘナリト欲スル所へ行ツテ見ルガ良イ。國王ノ宮殿カラ農夫ノ茅屋へ、産業ノ統率者カラ地中ニ隠レタ寶ヲ採掘スル鑛夫ヘナリト。然ラバ毎日、日ノ出カラ日没マデ、妻子ノ鼓舞スル幻影ヲ前ニ見テ其ノ努力ヲ支ヘ其ノ勞苦ノ瞬間ヲ慰メナガラ生キテ居ル人々ヲ見出スデアラウ。フン人、スラブ人、支那人、船舶ノ火夫、土地ノ耕作者、歐洲人、アメリカ人、カトリック教徒、トルコ人、バプテスト教徒、門番、商人、日傭労働者——此等ノ者ノ間ニ在ツテハ飢ニ泣ク兒ノ聲ヲ神ノ聲トセザル階級ヲ見出スコトハ出來ナイ。而シテ彼等ハ若シ兒サヘ生き得レバ罪自體ヲモ正當視スルノデアル。世界ヲ見渡セバ、白痴ヤ墮落シタ者ヲ除イテハ、幼兒ヲ救フ爲メニ貞操サヘモ賣ル母ヲ見出スデアラウ。種族ノ恒存ト維持トハ人生ニ於ケル最強ノ本能デアツテ自

己保存ヨリモ強ク愛ヨリモ普遍的デアル。凡ソ人類ニシテ其レヲ缺クモノハナク精神ノ健全ナルモノニシテ其レヲ所有セザル者ハナイ。其レハ人類ノ共通ノ特質ト所有物ノ一ツデアル。

其故ニ幼兒ニ對スル兩親ノ務ニ關スル如何ナル説ト雖モ若シ其レガ正義或ハ情愛カノ孰レカニ基礎ヲ置クモノナラバ必ズヤ全テノ子供ノ全テノ親ヲ考ヘネバナラス。豪奢ニ暮ラスニ「パーセント」ノ者が子供ノ爲ニ働クト云フコトヲ觀察スルダケデハ充分デナイ、(但シ是等ノ大部分ハ事實上全ク働カナシ、而カモ其數ハ段々増加スル。)猶全テノ他ノ人々モ亦其ノ子供等ノ利益ノ爲メニ働クモノダト云フ事實ヲ留意セネバナラス。

此ノ事實ヲ前ニスル時如何ナル不思議ナ光明ガ全體ニ投射サレルデアラウ!! 今ヤ吾人ハ一部ノ場合ニ就イテ情愛ノ要求ニ應ズル許リデナク總テノ場合ニ亘ツテ同様ニ注意セネバナラス。吾人ハ或ル農夫、賃借人、機械技術者ガ子供ノ爲メニ自由ト鬪争ノ機會ヲ目的トシテ働イテ全生活ヲ費ス時彼ノ愛スル幼者ヲ當然受クベキ賃銀ノ半額デ無理ニ相續人ノ爲メニ働カシメテ人道ノ原理ヲ侵害シテハナラナイ事ヲ知ル。吾人ハ或ル労働者ノ寡婦ガ幼兒ニ充分ナル「パン」ヲ與ヘンガ爲メニ止ムナク工場ニ行ツテ働カネバナラス時、労働ナクシテ相續人ニ工場ヲ與ヘルノハ害惡ヲ彼女ニ加ヘルノデアル事ヲ知ル。吾人ハ他ノ小供ニ其生育權 (birthright) ヲ奪ハレタル子孫ヲ見ル。吾人ハ他ノ娘ニ配分スル爲メ四〇「パーセント」減ジラレタ賃銀デ工場ニ赴カネ

バナラス娘ヲ見ル。吾人ハ他ノ子孫ノ維持スル證券ノ利子ヲ拂フ爲ニ兩親ノ所得ヲ補フ必要上公立學校カラ引離サレタ少年ヲ見ル。而シテ此ノ繪ノ何處ニモ明白ニ貧苦其物ノ瘦セタ輪廓ノ様ニ瘦レタ男女ノ顔ヲ見ル。更ニ彼等ハ子供ノ爲メニ生活シ勞働スルノデアル。彼等ノ唯一ノ遺産ハ如何ニ彼等ガ子供ニ公平ナル出發點ト平等ナル機會ヲ與ヘヤフト焦慮シ然カモ得ランナカツタカラ語ル記憶デアル。蓋シ子供等モ又所得ノ半分ヲ父ノ使用者ノ息子ニ與ヘタカラデアル。

世界ノ全テノ親ト全テノ子供ヲ考慮ノ中ニ入レズシテ親ノ愛情ニ基ク議論ヲ假定スル相續制度擁護論者ノ詭辯ヨリモ明瞭ナルモノハナイ。富メル者ノ幼者ニ對スル愛情ハ他ノ者ノ其ノ幼者ニ對スル愛情ト異ナル處ハナイ。實際此ノ階級ノ人々ノ裡デハ乳母ガ母親ノ位置ヲ占メル事ガ習慣的デアルノヲ考ヘル時、又相續人ガ屢々兩親ノ與ヘント欲スルヨリモ早ク且ツ多額ノ金額ヲ獲得セムトシテ爲ス苦々シイ時トシテハ犯罪的ナ企ヲ思フ時愛情ノ同程度ナル事ヲ大イニ疑問トスルニ足ルノデアル。

然シ擁護論者ハ相續人ニ財産ヲ移轉スル特權ガ剝奪サレルナラバ人ハ自分ノ必要トスル以上ノ富ヲ蓄積スル望ヲ失フニ到ルデアラウト主張スルモノデアル。

此ニ對シテ自分ハ先ヅ斯フ答辯スル。若シ此レガ眞實ナル場合ニ於テハ世界ニ對スル一大經濟的的祝福トナルデアラウ。

若シ人ガ自分ト其ノ妻竝ニ幼少ナル子供ノ必要ニ充分ナル程

度ニ蓄積シタ後デモ猶労働ヲ繼續スル時ハ其レハ仕事ヲ愛スルカ又ハ權力ヲ愛スルカ或ハ蓄積スル事ヲ望ムカ孰レカノ理由ニ出デタノデアアル。

若シ彼ガ仕事ヲ愛スルガ故ニ或ハ又權力ヲ愛スルガ故ニ働クトスレバ死ヌ時金ガ如何ナラウト頓着ナク働キ續ケルデアラウ。彼ガ死ヌル時財産ヲ移轉スル事ヲ國家ガ拒絕スルモ其仕事ニ影響ヲ與ヘナイデアラウ。又彼ノ職務モ社會モ影響ヲ受ケヌデアラウ。若シ彼ノ職務上ノ興味ガ只單ニ蓄積スル欲望ニ過ギストセバ其ノ職務モ公衆モ彼退隱ニ依ツテ利スルデアラウ。斯ノ如キ人ハ職務ノ進歩發展ニ努力ス可キ時ニ當リテ被僱者ト顧客トヲイデメルノデアアル。彼ハ自分自身ノ爲メニ金ヲ蓄積スル事ヲ求ムルト子供ノ爲メニ蓄積スル事ヲ望ムトヲ問ハズコノ種ノ人ハ向フ見ズノ人間デアアル。彼ハ眞ノ實務ノ愛好者ガ社會ニ有益デアルト同程度ニ社會ノ害惡デアアル。

余ハ前者ト比較シテ後者ノ階級ガ餘リ多ク存在シナイトイ云フ意見ヲ有スルモノデアアル。

偉大ナル能力ヲ有スル多數ノ實務家ハ仕事ヲ熱愛スル、而シテ充分自己ノ必要ニ應ズルニ足ルダケノ力ヲ有スルガ故ニ其ノ位置ニ居テ其レダケノ力ヲ有スル以上到底仕事ヲ仕ナイデハ濟マサレナイノデアアル。余ハ此ノ點ニ於テ實務家ガ藝術家、著作家及ピ全ユル種類ノ専門家ト比較シテ遜色ガナイト思フ。合衆國ノ大統領ガ其ノ地位ヲ息子ニ讓ル事ヲ約束サレナイ限り其

ノ執務ヲ拒絕スルデアラウト想像スルコトハ恰モ石鹼製造業者ガ其ノ息子ニ財産ヲ移轉スル事ニ人々ガ同意シナイコトヲ憤ツテ社長ノ位置ヲ去ルデアラウト想像スルト等シク不合理ノ沙汰デアル。

苟クモ世界ノ大金融中心地タリ大工業都市タルモノニシテ財産ガ個人的ニ必要トスル額ノ數百倍ニ達シタ後モ久シク働イテ居ル老獨身者ヤ小供ノナイ寡婦ニ就イテ注目スベキ例ヲ提供セザルモノハナイ。

此處ニバツレヘム鋼鐵會社ノ社長タル百萬長者チャールスエム、シワブ氏ノ言葉ヲ揚ゲル。「余ハ金ノ爲メニ働カナイ。既ニ余ハ現在ニ於テ將來費消スル以上ノ金ヲ蓄積シタ。余ハ子供ノ爲メニ働カナイ。蓋シ余ハ一人ノ子供ヲモ有シナイ。余ハ仕事自身ヲ目的トシテ働くノデアル——之ガ余ノ子供デアル——余ノ全部デアル。久シカラザル以前余ハ余ノ職務ノ代償トシテ或ル餘リ結構過ギル申出ヲ受ケタ。然シ余ハ拒絕シタ。余ニ仕事ガナケレバ一體何ヲシテ可イダラウカ？」シユワブノ云フ處ノモノハ常識デアル。童子ト雖モ其ノ眞理ヲ會得出來ル。何人ト雖モ子供ガ其ノ金ヲ欲スルカラト云ツテ百萬ノ數位ヲ超ヘテカラモ生々ト働く者ハナイ。反對ノ要求ハ相續制度擁護論者ノ側ニ於ケル絶望的ナ努力ニ過ギヌモノデアツテ若シ蓄財ガ相續人ニ移轉シナケレバ大教訓家モ指導者モ天才モ等シクペンヲ抛ゲ去リ工場ヲ破壊シ「アキレス」(Achilles)ノ様ニ「トロイ」ノ前ノテ

ントデ掘ネルト云フ事ヲ世人ニ畏怖シ信ゼムトスルノデアアル。

然カモ若シ偉大ナル能力ヲ有スル人々ニシテ其ノ子ガ巨大ナル力ヲ相續スル事ガ許サレナイ時職務上ノ計劃ヲ拋棄スル事ガ眞實ナリトスルモ此レハ不純ナル惡トハ遙カニ異ナル。彼等ハ自由ニ時間ト注意トヲ公供ノ奉仕ニ捧ゲルノデアラウ。而シテ今日微力ナル又ハ卑劣ナル人々ニ依ツテ占メラレテ居タ名譽ト信任ノ地位ハ明日ニナレバ實力アル人ニ依ツテ滿タサレルデアラウ。

其上若シ相續人ガ出産ノ時カラ財力ヲ相續スル腐敗シタ組織ノ愛兒トナル代リニ殘餘ノ人類ト共ニ奉仕ト云フ垣塙内デ試練サル可キ事ヲ理解スルナラバ其ノモノノ爲メニ巨大ナル財産ガ蓄積サレルト稱セラレル來ルベキ時代ハ、思考シ得可カラザル程度ニ迄道德的ニ有利トナルデアラウ。實際彼等ハ依然トシテ猶非常ナ程度ニ兩親ノ能力ニ惠マレタ者トナルデアラウ。彼等ハヨリ良キ教育、ヨリ良キ環境、ヨリ良キ食物、ヨリ大ナル肉體的改善ノ機會而シテ、全ユル種類ノ勝レタ利益ヲ有スルデアラウ。然カモ彼等ハ敢テ莫大ナル財産ヲ相續スルコトヲ期待シナイノデアアル。而シテ彼等ノ生理的、心理的ナ力ガ造出サレナケレバナラナイ所ノモノニ相應ハシイ所ノ必要ヲ理解スルデアラウ。——コレコソ人間ノ眞ノ指導者デアアル。

彼等ハ自己ヲ憐マナイ。彼等ハ自己ガ何物カラ掠奪サレタ者ダト考ヘナイ。蓋シ丁年ヲ過ギレバ利益ヲ期待シナイ様ニ教育

サレルカラデアアル。佛國ニ於テ稱號ヲ相續スル特權ガ取り去ラレタ時、最初ノ王族ヤ貴族ノ子ハ疑ヒモナク自己ノ權力ヲ奪ハレタモノト考ヘタニ相違ナイ。併シ今日合衆國ニ於テ大統領(President)、知事(Governor)、議員(Senate)等ノ小供ハ自己ガ父ノ權力ヲ奪ハレタ者ダトハ考ヘナイ。

余ハ情愛ニ味方スル。——人生ニ於ケル最モ優シキ情愛ノ爲ニ、蓄財家ノ小供ノ爲メカアル地位ヲ創造セントシテ己レノ子供ノ相續財産ヲ剝奪サレル無數ノ貧苦者ノ情愛ノ爲ニ、余ハ又悲歎ニ暮レル寡婦ノ情愛ノ味方スル。彼女等ハ常ニ寄邊ナキ彼等ノ子孫ガ無智、貧困、犯罪ニ陥ルノヲ見ツメテ居ラネバナラスノデアアル。其ノ子供等ハ彼等ガ他人ノ爲メニ長ク務メメ所ノ風呂場ノ火焚、工場、僕婢ノ職務ヲ去ルコトガ出來ナイノデアアル。何故ナラ彼等ハ其レヲ務メノ事ニ依ツテ愛スル者ノ身體ト精神ノ要求ヲ満足サセル事ガ出來ルカラデアアル。余ハ又數百ノ小作人ノ息子ガ或ル田地投機者ノ息子ノ廣大ナル土地ノ所有ノ爲メ其ノ僅カナル相續財産ヲ奪ハレマイトスル情愛ノ味方スル。余ハ又數百萬ノ働ク者ガ働カザル數千ノ相續人ニ奢侈ヲサセル爲メニ自分等ガ生死ノ境(Bread Line)ニ近寄ルマイトスル情愛ノ味方スル。余ハ諸君ニ何物ヲモ相續セザル者ノ飢エタル口、學校カラ引離サレタ兒童ノ無教育ナル心、工場ニ働ク娘ノ血ノ滴タル手、貧困者ノ兩親ノ絶望的ナル顔ヲ示サウ。而シテ此等ノ者ハ憐ヲ乞フ者デハナクテ彼等ト協力スル資本家ト

共ニ六〇「パーセント」ヲ怠ケ者ニ支拂フ爲メニ四〇「パーセント」ノ報酬ヲ百「パーセント」ノ仕事ヲ爲サネバナラヌコトハ最早止メテ貰ヒ度イト要求スルモノデアル。

余ハ此レヲ人權ト云フ。——働ク者全體ガ報酬全體ヲ受ケル資格ヲ有スルノデアル。而シテ形式ノ如何ヲ問ハズ勞力ナクシテ金錢ヲ移轉スル事ハ悉ク人權ニ對スル直接ノ侵害デアル。

相續ノ場合ニハ正義ト云フ單純ナ言葉デ表現出來ルヨリモ、モット意味ノ強イモノデアル。最モ之ヲ詮ジ詰ノレバ其ノ意味ニ歸着スルケレド。其レハ人心ノ最モ優シイ情愛ノ上ニ建設セラレタモノデアル。即チ全テノ兩親ガ全テノ子供ニ神ノ不變ノ法則ニ依リテ與ヘラレタ機會ヲ相續サセル權利ト全テノ子供ガ公平ナル機會ト平等ナル出發點ニ對シテ有スル權利ニ其根底ヲ置クモノデアル。

過去ノ財産權ガ富者ノ子供カ或ハ貧者ノ子供カ然ラズバ兩者ニ移轉セラレザル可カラザルハ明白ナ事デアル。

若シ偏頗ナ情愛ノミニ訴ヘルナラバ富者ノ子供ヨリモ寧ロ之ヲ貧者ノ子供ニ分與スルノガ適當ノ様ニ思ハシル。蓋シ後者ハ兩親ノ存命中前者ヨリモ遙カニ多ク慰安、教養、機會ノ利益ヲ享樂シタカラデアル。併シ決シテ斯ノ如キ情愛ヲ以テ正當寬大ナル人々ヲ動カシテハナラヌ。過去ノ時代ノ蓄積シタ富ヲ分配スルニ當ツテハ正義ト普遍的ナ愛ノ考慮ヲ基礎トシテ判斷セネバナラヌ。此等ノ事項ニ隨ツテ權利ノ愛好者ハ悉ク各自ノ努力

ト技能トノ産業上ノ利益ニ對スル正確ナル割合ヲ貧者ニモ富者ニモ確保セシムル爲メ出來得ル限リノ努力ヲ注ガネバナラス。而シテ此ノ割合ハ兩親ノ努力ト技術ニ應ゼシメテハナラナイノデアツテ報酬ガ與ヘラレル當面ノ人ノ努力ト技術ニ相應セネバナラス。

往々ニシテ以下ノ如ク論ビラレル事ガアル。若シ政府ガ相續人ニ財産ヲ移轉スルコトヲ拒絶スルトセバ社會ノ有機組織ノ上ニ其ノ結合ト其ノ相互愛ヲ破壊スルガ如キ影響ヲ及ボスデアラウ。又自己ノ子供ニ對スル關係ヲ世界ノ他ノ凡テノ子供ニ對スル態度ト異ナル所ナキニ到ラシメルデアラウ。

斯ノ如キ状態が大ナル實務家ヲシテ實際其ノ周圍ノ人々ノ状況ニ就イテ深く興味ヲ持タラシメル様ニ、又此ノ事情ハ人類ヲ愛シ其ノ幸福ヲ望ム人々ニ對スル大イナル激勵トモナルデアラウ。然シ家族團體ノ力ト情愛ヲ滅殺スルト云フニ至ツテハ此レヨリモ非論理的ナ議論ハナカラウ。

親ニ對スル子供ノ情愛ハ金錢的事項ニ基クモノデハナイ。相續ニ對スル欲望ガ兩親ニ對スル若イ男女ノ行動ニ影響ヲ與ヘル以上切望サレテ居ル財産ノ存在スル事ハ當然相續人ノ胸裡ニ生ズ可キ自然的愛情ヲ殺スノデアル。成程幼少ナル子供ハ兩親ガ彼等自身ノ爲メニ犠牲ヲ拂フカラ兩親ヲ愛ス可キモノダト考ヘルニ至ルデアラウケレド一度小供ガ將來ノ相續ヲ豫期シテ愛情ヲ注グ様ニナレバ其ノ瞬間ニ萬事ハ變化スル。假リニ此レガ眞

實デナイトシテモ財産ノ豫期ガ子トシテノ愛ノ原因デアル以上此ノ豫期ノ缺乏ガ憎惡ニ對シテモ愛ト等シキ力ヲ有スル原因トナル可キ事ハ一目瞭然デアル。サスレバ直チニ此ノ命題ニ對シテ反證ヲ擧ゲ得ラルルデアラウ。蓋シ吾人ハ貧者ノ子供ガ兩親ヲ憎マズ、却ツテ反對ニ非常ニ孝養ニ勉メル事實ヲ知ルカラデアル。

財産ノ豫期ヲ根底トスル愛ハ不純デアル。斯ノ如キ感情ハ愛デハナクシテ其レヲ汚スモノデアル。其レハ諸君ノ家族ヲ結合シ、全人類ノ心ヲ統一シ、人間的ナモノト、神聖ナルモノトノ結合ヲ計ル純粹ナル聖キ情愛ニ對スル侮辱デアル。

兩親ガ暴君ニ類スル力ヲ遺スコトガ出来ナイト云ツテ亞米利加ノ子供ハ兩親ヲ憎ムデアラウカ？否彼等ハ兩親ガ金ヲ自分等ニ遺サナイカラト云ツテ兩親ヲ憎ム事ハナカラウ 貧者ノ子孫ハ勞苦デ損ジタ父親ノ其ノ手ヲ輕蔑スルデアラウカ？余ハ思ヒキツテ次ノ意見ヲタテル。中流階級トシテ知ラレテ居ル家族カラ成ル大階級ニ於テハ、兩親ガ最モヨク愛セラレテ居ルノデアル。此ノ階級ニ於テ子供等ハ丁年ニ達スル迄良ノ育テラレルガ財産相續ノ方面ニ於テハ期待ス可キモノガ餘リ澤山ナイカ或ハ絶無デアル。

巨大ナル富ガ存在スル故ニ極端ナ貧苦ノ存在ヲ必然的ナラシメルノデアル。莫大ナ財産相續ヲ廢止スレバ、同時ニ怠惰ナ富者ノ數ヲ減ズルシ又同ジ理由デ怠惰ナ貧者ノ群ヲ減少スルニ至

ルノdeal。浮浪者ヤ怠惰ヲ百萬長者ハ同ジ經濟的弊害ノ二個ノ表現deal。彼等ハ諸々ノ特權ヲ廢止スルト共ニ消滅スルデアラウ。此等ノ特權ノ内相續ノ特權ガ最モ顯著デ且ツ弊害ノ甚ダシイモノdeal。

斯ノ如キ反對ヨリ他ニ巨大ナル富ニ對スル適當ナル反對ハ存在シナイシ又存在シ様筈ハナイ。凡ソ理性アル人又ハ理性アル人ノ團體ニシテ財ガ特權ニヨリテ聚積サレザル限り如何ニ多額デアラウト財ノ蓄積ニ反對シタモノモナケレバ又反對スル者モナイデアラウ。又其ノ額ニシテ少ナラバ別ニ多數ノ者ハ、特權自體ニ對シテ反對モシナイデアラウ。併シ特權ニ依リテ聚積サレタ財ハ非常ニ巨大トナリ嘗ツテ世界史上ニ存在シタモノノ内デ最モ恐ル可キ文明ノ恐怖トナツタ程deal。今日相續ノ特權ハ廣大ナル範圍ノ財産ヲ創造シテ居ルノデ之ヲ現實ニ測定スル事ハ不可能deal。此等ノ者ガ間接的ニノミナラズ直接的ニ生ゼシメル貧苦ハ決シテ評價シ得ルモノデハナイ。

家族圈内ニ財産ヲ移轉スル事ヲ擁護セムト望ム者ハ、多數者ノ親ノ愛情ニ背イテ少數者ノ親ノ愛情ニ訴ヘルノdeal。彼等ハ熱心ニ二「パーセント」ノ者ヲ保護セムトスルノ餘リ九八「パーセント」ノ者ヲ無視スル。其ノ立場タルヤ不正、不賢明ナルト共ニ非人情的ナモノデアリ且ツ眞ノ同情ガ乾枯ビ果テタモノdeal。然シ彼等ガ單ナル「パーセント」ト云フ様ナ問題以外ノ點ニ於テモ、又如何ニ常識ノ範圍ニ這入り過ギテ居ルカラ思フ

時吾人ハ此様ナ事ヲ信ズル人々ノ精神ノ單純サヲ不思議ニ思フノデアル。

本問題ニ就イテ此等ノ人々が故意ニ或ハ偏執ナル精神ノ爲メニ看過スルニ方面ガアル。其ノ一ハ親カラ子ニ移ラズシテ、傍系ノ相續人(Collateral heirs)ニ移ル大多數ノ財産デアル。其ノ二ハ其レヨリモ大ナル割合ノモノデアツテ此レヲ與ヘル親ノ蓄積シタモノデナク相次イデ相續ノ順位ニ立ツ親又ハ子ノ出生スル半世紀前或ハ二世紀以前ニ死シタ先祖ノ蓄積シタモノデアル。

前者ニ就イテハ、或ル國ノ遺言檢認裁判所ノ記録ヲ調査スレバ充分明瞭ニ如何ニ驚ク可キ割合ニ死者ノ相續財産ガ息子及ビ娘ニ移ラズシテ遠イ關係ノ親族ニ移ルカヲ示スコトガ出來ルノデアル。然カモ普通ノ相續制度擁護論ハ皆此等ニ適用サレナイノデル。

後者ニ就イテハ、正確ナ數字ヲ以テ示スコトハ出來ナイ。併シ一般ノ知識カラ其ノ範圍ヲ理解スル爲ニ只一寸考ヘサヘスレバ宜敷イノデアル。歐洲諸國ニ於テハ國際的ニ重要ナ財産ガ數世紀ノ間モ家族ノ圈内ニ於テ移轉シテ居ル。マールボローノ財産ウエストミニスターノ財産其他英國ニ於ケル幾多ノ此レニ類スル家族ノ財産ガ一般ノ物語リヤ新聞ノ讀者ニモ充分ニ熟知サレテ居ル。一千年ヲ超ユル家族ノ財産モナイデハナイ。或現在ノ公爵ト四十代ヲ遡ツタ先祖トノ關係ヲバ如何ナル情愛ヲ以ツテ説明シ肯定ス可キデアラウカ？或ル二十世紀ノ伯爵ト異

ナル宗教、異ナル言語、時トシテハ異ナル色素サヘ有スルル十二世紀ノ貴族ノ間ニ於テモ亦然リデハナイカ？

ソコデ我々ハ民衆ノ二「パーセント」ヲ超ヘザル者ガ後ニ遺スベキ巨額ノ財産ヲ有スル事及ビ此等ノ場合ノ大半ハ相續人ノ父ニ依リテ其ノ財産ガ確得セラレタモノデ無イ事ヲ考ヘル時息子ノ特權ヲ肯定スルモノトシテ父ノ情愛ヲ基礎トスル議論ノ力ハ大イニ減ズルノデアアル。其故ニ我々ハ殘餘ノ九八「パーセント」ノモノノ權利ヲ思フ時全クソレハ消滅シテシマウノデアアル。其ノ代リニ我々ノ下ニ、將來我々が新シキ朝ノ曙光ヲ見ルデアラウト云フ輝ケル希望ガ來タルノデアアル。其時世界ニ生レ出デル凡テノ子ハ勞苦ノ報酬ヲ獲得スベキ平等ノ機會ヲ有スルノデアアル。若シ我々が萬物ノ創造者タル神ノ信者デアアルナラバ、我々ハ全テノ子供ヲ神カラ直接ニ來タル者トシテ且ツ神聖ナル起源ニ對スル平等ノ請求權ト自然ノ惠與ニ接近スルヲ得ル平等ノ權利ヲ有スル者トシテ考ヘネバナラス。此レ以外ニ考ヘルコトハ我々自身ヨリモ不正ニシテ非人情ナ神ヲ作ルコトニナル。神ハ「アダム」ニ與ヘナカッタ權利ヲ又「アダム」ノ子孫全體ニモ同ジク與ヘルコトヲ欲シナカッタ。神ノ子供ノ一人ニ數億ノ金額ノ贈物ヲ許シ其ノ爲メ必然的ニ殘餘ノモノカラ其レヲ取り去ル様ナ神ヲ想像スルコトハ不公平デアルト共ニ不道理デアアル。自己ノ勞務ノ報酬全體ニ對シテ有スル全テノ子供ノ權利ハ前時代ノ子供ニモ今ノ時代ノ子供ニモ等シク眞理デアアル。其ノ權利ナク

シテ小供ガ地上ニ來タルコトハ不可能デアラウ。何故ナラ此種ノ子供ガ生レタトスレバ自由ノ創造者ニヨリテ奴隸制度ノ承認ヲ鮮明ニシ且ツ記念スルコトニナルカラデアル。——純潔ナル神ガ徳性ヲ殺戮シ——大地ノ正義ノ判官ガ犯罪ヲ承認スルコトトモナラウ。

VII. 便宜ノ要求ト特權

(原著 pp. 195—200 pp. 213—226)

余ハ本書ノ前部分デ正義ト情愛ノ立場カラ相續ノ特權ヲ考察スルニ努メタ。蓋シ充分ニ重要ナル方面ヲ分析シ盡サナイ前ニ其ノ便宜性如何ヲ驗スルコトハ不適當ダト考ヘタカラデアル。然シ今茲ニ此ノ方面ノ問題ニ就イテモ幾分ノ注意ヲ拂ヒ度イト思フ。

根本的ナ原理ガ餘リ含マレテ居無イ瑣細ナコトニ就イテスラモ便宜ハ正義ト眞ノ情愛ニ相反スル時ハ殆ンド肯定サレナイモノデアル。況シテ相續財産ノ様ナ人ノ死活ニ關スル根本的ノ大問題ニ於テ便宜ガ不正ノ存續ヲ要求スルト云フ説ハ、人權ニ對シテ最モ危險極マレルモノデアル。

勞務ニ對スル報酬ト云フ法則ハ單ニ自然ノ不變的ナ法則デアルトシテ示サレテ居ル。而シテ自然ニ反抗スル人モ決シテ此レヲ征服スルコトハナイノデアル。自然ヲ征服スルコトハ自然ヲ理解スルコトデアル。自然ノ法則ヲ知ルコトハ此レヲ利用シ得ル前ニ爲スベキ最初ニシテ必然的ナ段階デアル。

自然ハ徳性、純潔、慈善ノ爲メニスルトキト雖モ勞力ナクシテハ一粒ノ麥一杯ノ水デサヘ之ヲ提供シナイ。此レガ自然ノ法ナノデアアル。而シテ我々ハ自然ト一致スルノガ最モ便宜デアアルカ其レトモ又此レニ敵對スルノガ便宜デアアルカラ問題トスルノデアアル。若シ出來得ルナラバ何故自然ガ勞力ノ結果タル以外ニ食物、衣服、住居ヲ與ヘルノヲ拒絶スルカラ確定シテカラ推論シ始メルノガ恐ラク賢明ナ方法デアラウ。

何故自然ハ働カザル者ニ與ヘナイカ？特ニ惠マレタ階級ハ働カズトモ與ヘラレルト云フコトガ望マシク又便宜デアアルナラバ何故自然ハ全ユル形式ニ於テ其ノ餘ノ者ノ享有ヲ減ジタノカ？其ノ解答ハ世界ノ科學者中ノ最モ卓越シタ者ニ依ツテ與ヘラレテ居ル。種族ノ改善ハ動植物ヲ通ジテ淘汰ト適者生存ニ基クノデアアル。自然ハ動物ノ如何ナル種族ガ最モ生存ニ適スルカラ決定スベキ數多ノ標準ヲ有スル。活動性、健全性、腕力、智力、適應性等デアアル。——而シテ此等ノ作用ハ各發現ト抵抗ノ傾向ヲ有スルモノデアアル。手足ヲ使用セズシテ胃ノ要求ヲ満足セシムル時ハ、自然ガ絶ヘズ能力ヲ測定スル爲メニ必要ナ標準トナルベキ各作用ノ發現ト云フコトヲ缺クニ至ルノデアアル。——故ニ自然ハ生物進化ノ第一法則デアアルカノ様ニ思ハシメル處ノ特權ノ法則ヲ排斥シタ。其故ニ自然ハ特權ヲ有スル者ノ口ニ食物ヲ落シ入レルコトヲ拒絶スル。又其ノ勞働ノ法則ニ敵對スル者ノ身體ニ衣類ヲ置クコトヲ拒絶スル。故ニ怠ケ者ノ爲メニ持チ

來タルコトガ人類ノ任務トナル。屢々不正ヲ辯解スル爲メ用ヒラレタ適者生存ノ法則モ此レヲ適當ニ觀察スル時ハ、人類ノ法則タル範圍内ニ於テ公平ナル競走場裡ト平等ナ機會ヲ望ム最モ強イ議論トナルノデアアル。其故ニ最適者ハ搖籃ノ中デ飢エタリ教育上差別ヲタテラレタリ、又他人ト自由ニシテ平等ナ競走ヲシテ能力ヲ公平ニ試メスコトヲ妨ゲル人間ノ法則ノ爲メニ成人ニナツテモ貧苦ト云フ人ヲ蹂躪スル水車小屋ニ繋ガレルコトナシニ眞ニ指導者トナルデアラウ。

使用セザル筋肉ハ衰ヘル。死セル丸太ハ朽チル。停滯スル水ハ汚レル。世界ノ怠ケ者ヲ維持スル必要上愚圖愚圖シタキマリキツタ仕事ニ繋ガレテ居ル人々ハ新シクテ愛スベキ思想ノ神聖ナル叫ビヲ聞カナイノデアアル。彼等ノ精神ハ萎縮シ野心ハ死スルノデアアル。

自然ハ近代ノ特權ノ様ナ不合理ナルモノニ依ツテ生活スル野獸ヲ創クルコトサヘ便宜デアルト思ハナカッタ。野獸ハ食物ヲ得ンガ爲メニ鬪ヒ強イ動物ハ如何ナルモノデモ自分ガ見出スモノヲ捕ヘルノデアアル。然シ犬デサヘ怠ケモノノ犬ニ骨ヲ運バナイデアラウ。而シテ他日惠マレタ犬ノ爲メニ骨ノ山ヲ高ク築キ而シテ其ノ骨ハ怠ケモノガ到底百分ノ一ヲモ消費出來ナイ程デアアルノニ彼等ハ最初ニ其レヲ得タ犬ヲ防グガタメニ周圍ニ垣ヲ廻ラシテ遂ニ飢餓ニ頻セシメルトスレバ如何デアラウカ——嘗ツテ人間以外ニ其ノ罪ヲ犯シタ動物ハナイノデアアル。自然ハ

動物ノ間ニ競争ヲ許シテ居ル——齒ト爪ヲ以テスル競争サヘモ許スノデアル——然シ相續ノ特權ノ様ナ不合理ノモノハ動物生活ノ凡テノ法則ノ中ニ存在シナイノデアル。技倆ヲ度外視スル淘汰ト偏頗ノ觀念ガ排斥セラルノハ下等動物ノ間ニ限ラナイノデアル。組織ノ政府ガ未ダ存在セザルカ又ハ力弱イ所ノ原始状態ニ面接スル時人ガ到ル處デ自然ニ特權ノ怨ミ排斥スルノヲ知ルノデアル。グレーリーノ探險隊(Greley Expedition)トシテ知ラレタル北極探險ノ旅行ニ於テ「コムモドル、シユレー」ニヨリ探險者等ガ救助セラレルマデニ生存者等ハ將ニ餓死セムトスル状態ニアツタ。一日分ノ糧食ガ毎日人々ノ間ニ分配サレタ。而シテ希望者ハ將來確ニ生ズル様ニ思ハレル一層大ナル必要ニ備ヘル爲メ糧食ノ幾分カラ貯ヘルコトガ許サレタ。然シ仲間ノ人ガ死ンダ時貯ヘタモノヲ假令親族デアルニシテモ他ノ一人ニ許リ與ヘルコトヲ許サレナカツタ。彼ガ貯ヘタ糧食ハ團體ニ復歸シタ。共同ノ貯ヘノ中ニ入レラレタ。即チ相續ノ特權ハ否定サレタ。

然カモ今日廣大ナル財産ノ力ハ全ク偉大デアツテ我々ノ間ニ於テハ矢張便宜トイフ基礎ノ上ニ同ジ淘汰ト云フ原理ヲ認識スルコトヲ肯定スルニ足ルノデアル。

便宜ハ決シテ産業上特權者階級ノ存在ヲ要求シナイシ又要求スルコトモナイノデアラウ。石炭王「ベール」ノ「勞働者ノ利益ノ獲得ハ運動家ノ奉仕ニ依ルノデハナクテ神ガ無限ノ智慧ヲ以

テ國家ノ財産的の利益ヲ委託シタキリスト教徒ニ依ルノデアアル、ト云フ新シイ有名ナ宣言ハ「朕ハ國家ナリ」ト云ツタ彼ノ「ルイ」王ノ有名ナ言葉ニ譬フ可キモノデアアル。此ノ二個ノ言葉ハ共ニ不名譽ノ焼印ヲ押サル可キモノデアアル。彼ノ「キリスト」自身ガ此ノ偽善者ノ階級ニ對シテ言ハレタ言葉程強烈ナ反對原理ヲ含ム叙述ハナイノデアアル、「オー汝憐レムベキ者ヨ、汝ハ寡婦ノ家ヲ貪リ喰ラヒテ其ノ申譯ノ爲メニ長イ祈リヲ捧グルノデアアル、故ニ余ハ汝ニ大ナル災ヲ與ヘン」。

偽善的のナ口實ハ只隱サウト欲スル罪惡ヲ重ネルニ過ギナイ。「ベール」ノキリストノ教徒ニ特權ヲ許スコトハ、特權ナキモノノ利益ノ爲メニ必要缺クカラザルモノデアアルト云フ言ハ、最モ卑ムベキ詐欺ニ對スル不注意極マル辯明デアツタ、其ノ詐欺タルヤ宗教ニ託シテ自己ヲ防禦セムト欲スルノデアアル。

不正ハ常ニ其ノ形式ヲ隱サウト企テル、便宜ト云フ理由デ怠惰ヲ辯護スルコトハ此ノ著シイ例デアアル。然シ自然ハ人類ノ爲メニスルアラユル準備ニ於テ怠惰ヲ嫌フノデアアル、故ニ理智ノ動物ハ此ノ點ニ於テ自然ヲ模倣セネバナラス。

便宜ハ富ト機會トノ平等ガ自由ナル政治ノ存在其物ニ對シ威嚇トナルニ至ツタ現在制度ノ存續ヲ暗示スル處カ寧ロ絶體ニ其ノ反對ヲ要求スルノデアアル。生來ノ財産ヲ否認スル理由タル人權思想ヲ前提トシテノミ吾人ガ便宜ト稱スル自利ヲ重視スル思想ガ生レルノデアアル。

相續制度ガ廢止サレル時過度ノ蓄財ノ弊害ハ消滅スルノデア
ラウ。蓋シ富ノ蓄積ハ一個人ノ生涯ヲ限度トシテ制限サレルカ
ラデアル。或ル一個人ガ蓄積出來ル富ハ彼自身ガ現ニ蓄積出來
ル富デアル。現在同ジ能力ヲ有スル人々ノ間ニ存在スル極端ナ
ル不平等ハ、全テノ人々が平等ノ出發點ヲ得ル事實ニ依ツテ減
少セラレルデアラウ。製造及ビ農業ノアラユル條件及ビ状態ヲ
支配スル數人ノ有スル力ハ切り詰メラレルノデアル。貧乏ニ生
レ乍ラ大ナル富ヲ獲得スル天才ハ猶存在スルデアラウ。然シ凡
庸ニシテ無能力ナル相續人カ相續財産ヲ維持シ且ツ之ヲ増加ス
ルコトハ最早存在シナクナルノデアラウ。矢張り富ニ差違ハ生
ズルシ或ル場合ニハ非常ナ差違ガ生ズルデアラウ。然シ乍ラ若
シアルトシテモ技術ト云フ點カラ見テ肯定サレナイ様ナ富ガ生
ズル場合ハ殆ンドナイデアラウ。世界ノ大經濟力ノ所有者ハ有
能ナル人々ニナルノデアル。

巨額ナ財産ノ數ハ減少シテ恰當ノ額ノ財産ノ數ガ増加スル、
而シテ働勞條件ハ世界史上ニ於テ以前ヨリモ驚ク可キ程度ニ改
善セラレルノデアル。蓋シ今日働勞者及ビ統率者ヲ支配スル事
物ノ状態ヲ見ルニ恰モ骨牌ニ於テ、エイス、キング、クイン等
ガ既ニゲームノ開始前ニ運命ノ寵兒ニト配ラレテ居ル様ナモノ
デアル。

大キナ投機ハ消滅スルデアラウ。生産ノ職務ニ従事スル人々
ハ適法ナ目的ノ爲メニ資金ヲ必要トスル、投機ハ特權ト獨占カ

ラ生レル最初ノ子供デアアル。而シテ最モ亂暴ナ形式ヲ有スル特權ガ排斥セラレ且ツ其ノ財産ノ範圍ガ僅カー生涯ノ取得ニ限ラレル様ナ條件ノ下ニ於テ投機ハ大打撃ヲ受ケルデアラウ。即チ其ノ主タル擁護者ハ權力ヲ奪ハレ又投機ヲ禁ズル法ニ對スル反對ハ速カニナクナルノデアアル。

投機ヲ成功セシメル爲メニ必然的ナ基礎デアアル獨占ハ此レヲ可能ナラシメル巨額ノ財産ト共ニ漸次消滅ニ向フデアラウ。其レハ尙輕ンズ可カラザル敵デアアル。ヘンリージョウジ (Henry George) ヤ近代ノ社會主義ノ諸說ハ永續スルモノデハナイ。相續ノ特權ヲ廢止スレバ獨占ノ手段タル資金ハ制限セラレ又或ル特殊ノ富源ヲ一個人ガ獨占シ得ル期間モ制限セラレテ獨占ヲ廢滅ニ歸スル時期ヲ速メルコトニナルデアラウ。

法外ナ蓄財ト共ニ此ノ伴侶タル罪惡、貧苦モ消滅スルデアラウ。貧苦ト巨額ノ富トハ同一物ノ盾兩面デアアル。宮殿ト茅屋トハ相互ニ説明シ合フノデアアル。無賴漢ト怠懶ナ百萬長者トハ互ニ双子ノ片割デアアル。此等ノ怠惰ハ同ジ淵源カラ生ジ同ジ救濟策ヲ施スコトニ因リ消滅スルノデアアル。

兒童ハ非常ナ恐怖心ヲ以ツテ勞働スル。我子ヲ戰車ノ齒車ノ下ニ犠牲トシテ抛ゲ出サレタル上剩ヘ我々自身ヲモ引キズツテ行ク近代ノ魔神ヂヤガナウト (Juggernaut) ハ家長ガ妻子ノ助力ヲ仰ガズシテ立派ニ其ノ家族ヲ支ヘ得ル様ナ状態ノ到來ト共ニ消滅スルデアラウ。「サウスカロリナ」ノ不名譽ハ遺言檢認裁判

所(Provate Court)ノ不正ト共ニ消滅スル。代表者ノ改革ハ工場ノ改善ヲ生ズル。各種ノ取締法規ガ少年労働者法又ハ社會政策的教育機關(Reform School)等ヲ以テ遂ニ除去ヲシ得ザリシ彼ノ墮落、肺病、無智ノ如キモノニ及ブデアラウ。此等ノ幼兒ノ維持シテ居ル相續財産ノピラミットヲ各人一代ノ所得ニ削減スレバ、必然ニ消滅スルニ至ルノデアアル。

姦淫、不節制、犯罪其他少クトモ貧苦ノ中ニ其ノ存在ノ事由ヲ見出ス様ナ害惡ノ部分ハ原因タル事由ヲ除去スルニツレテ消滅スルノデアアル。蓋シ他ニバンヲ得ルニモツト樂ナ方法ガアルナラバ誰ガ好キホンデバンノ爲メ身體ヲ賣ルデアラウカ。若シ労働ガ立派ニ支拂ハレルナラバ誰ガ敢テ盜罪ヲ犯スデアラウカ?故ニ犯罪ノ存在ハ犯人ノ個人的ナ墮落ニノミ限定セラレルノデアアル。然カモ此ノ個人的ナ墮落スラ量ニ於テ減少スル。蓋シ其ノ生理的基礎ハ貧苦ニアリ其ノ心理的原因ハ無智ニアルカラデアアル。

不相當ナ富ノ必然的ナ支柱デ有ルト共ニ詐欺師ニ取ツテ缺ク可カラザル武器デアアル欺罔ト不名譽ハ不公平ニ組織サレタ社會ニ於テハ存續シナケレバナラス。併シ社會ガ公平ト云フ根本的の原理ヲ採用シテ不勞所得ト云フ汚名ヲ被セルコトノ出來ナイ金錢獲得ノ方法ノミ認メルナラバ直チニ此等ノモノハ消滅スルデアラウ。志ヲ得ザル者ノ最後ノ避難所タル自殺ト雖モ我々が搖籃ニ眠ル幼兒ニ絶望ヲ與ヘズ又世界ヲ開放シテ惠マレタル少數

者ノミニ之ヲ專有セシメザルトキニハ漸次消滅ニ向フノデア
ル。

法外ナ蓄財、大投機、獨占、貧苦、兒童ノ勞働、姦淫、犯罪、
無智ノ代リニ我々ハヨリ良キ教育、ヨリ良キ道德、ヨリ良キ仕
事ヲ置クノデアル。

今日教育ノ二大敵ハ貧苦ト失望デアル。男女モ女兒モ主タル
二個ノ理由ノ爲メ第六年級ヲ完了セザル前ニ校門ヲ去ルノデア
ル。

第一、家庭ニ於テ彼ノ勞得ガ必要デアルト云フ事實デアル。

第二、一幼兒ノ心ニサヘ生ズル絶對的ナ失望ノ感デアル。即
チ障害ガ大キ過ギテ到底乗り起セナイト感ズルノデアル。

此等二個ノ事實ガ他ノ事實ヲ併セタモノヨリモ強ク兒童ノ就
學ヲ制限スルト云フコトハ教育家ノ一致セル證言デアル。地球
上ノスベテノ子供ガ過去ノ利益ヲ平等ニ分割スル制度ヲ確立ス
ル時ハ兒童ノ教育ヲ妨ゲル二個ノ事實ヲ除去スルニ至ルノデア
ル。

同様ノ過程ヲ經テ來ル可キ時代ノ道德モ改善セラレルノデア
ル。如何ニ多クノ不道德ガ心内ノ老「アダム」ニ基イテ生ズルカ
亦如何ニ多クノモノガ粗雜ナ建物ノ戸、野卑ナ環境、制限サレ
タ機會ニ基ヅクカノ問題ハ他人ノ議論ニ之ヲ任ゼヤウ。然シ其
ノ大部分ガ直ニ後者ニ基ヅクト云フコトハ如何ナル觀察者ト雖
モ否定シ難イ。

凡ソ國內ノ教會、校舍ニシテ清淨ナ環境ガ、ヨリ高イ靈性ニ對スル欲望ヲ覺醒セシムルト云フ人類ノ信念ニ對スル證據ヲ提供セザルモノハナイ。亦世界ニ存在スル慈善的設備中其ノ存在理由ノ一ツトシテ良キ道德ハ、良キ食物ノ直接ノ結果デアルト言フ說ヲ提出セザルモノハナイノデアアル。苟クモ世界ニ生活スル思慮アル人ニシテゲームニ於ケル公平ナ規則ガ正直ナ競技者ヲ作り、平公ナ法則ガ尊敬スベキ市民ヲ作り、仕事ニ於ケル公平ナル處置ガ正直ナ被用者ヲ作ルコトヲ許容セザルモノハナイ。勞得セザル相續財産ガ廢止セラレル時人類ニ來ル可キ感情ハ、公平ト正義ガ地上ニ來タト云フ感情デアアル。而シテ此ノ感情ハ善良ナル道德ヲ生ズルノデアアル。ヨリ良キ仕事ハ全テノ人々ニ公平ナ出發點ト平等ナ機會ヲ與ヘル制度ニ因リテ生ズルト云フコトハ大規模ノ事業ハ特權ヲ與ヘルコトニ因リテノミ經營ガ可能トナルト云フ說ガ多數ノ者ノ心中ニ存在シナイナラバ敢テ之ヲ證明スル必要ハナイデアラウ。併シ非特權階級ハ若シ此等ノ不公平ヲ取り去ルナラバ却ツテ世界ヲ荒廢ニ歸セシメハシマイカヲ恐レテ沈黙ヲ最上ノコトト考ヘル様ニナツテ來タ。過去ニ於テアラユル不正ヲ擁護セムガ爲メニ作用シタ感情ハ此レデアアル。即チ奴隸ハ主人ガナケレバ餓死スルノガ確カデアツタ。國王ノ臣民ハ唯君主ノ魔力ノミガヨク他國民ノ攻撃カラ臣民ヲ防禦スル事ガ出來ルト云フ事ヲ告ゲ知ラサレテ居ツタ。無智ニシテ蹂躪サレタ人々ノ喉ヲ掴ム恐怖ノ念ハ未知ノ所へ逃ゲルヨリ

モ寧ろ過去ニ於テ彼等ヲシテ害惡ヲ堪エ忍バシメタノデアル。

公平ナル出發點ト平等ナル機會ガスベテノ人ノ相續財産トナル時實務ハ以前ト異リ有能ナル血液ノ力强キ新ナル浸入ニ因リテ速進セラレルノデアル 熱狂シタ精神ハ勞働者カラ法人ノ指導者ニ到ル迄スベテノ勞務者ノ努力ヲ速進スル。努力ニ相當スル報酬ノ確實性、現在絶望的ニ爭鬪スル幾百萬ノ人々ノ野心ニ火ヲ點ズルノデアル。現在ノ制度上唯利得ヲ目的トシテノミ處理サレル企業ハ、自分ノ仕事ヲヨク爲サウトスル目的ニ支配セラレテ居ル幾百千ノ人々ノ手ト頭ノ鋭敏ナル衝動ヲ感ズルデアラウ。彼等ハ云フ「吾人ハ唯一ツノ生命ヲ以ツテ生キテ居ルノデアツテ迎モ將來ノ政策ヲ指揮スルコトハ出來ナイ。其故ニセメテ生存中ニ可能ナル善ヲ爲シ度イモノデアル。」現在怠ケ者ノ收入ヲ得サセル爲メニ少額ノ給料ヲ備ハレテ居ル有能ナ人ハ新シキ制度ノ下ニ於テハ自己ノ爲メニヨリ大ナル收入ヲ得ルノデアル。今日大財産ヲ存續シ擴大セシメンガ爲ニ餓死ニ頻スル程度ノ賃銀ヲ備ハレテ居ル勞働者ハ多クノ場合ニ於テヨリ良キ賃銀ヲ任意的ニ支拂ハレル。又サウデナイニシテモ要求ヲ貫徹スル境地ニ居ルデアラウ。蓋シ業務狀態ガ良好ニナルカラデアル。業務ハ將來、ヨリ良ク、ヨリ大ニ、ヨリ公平ニ、ヨリ有利ニナル。蓋シ現在適當ナ反對給付ヲ供スルコトナシニ業務カラ全收入ノ大部分ヲ奪フ特權ハ全ク供給ノ源ヲ絶タレ業務上得タ金ハ悉ク此レニ干與スル人々ノ財産トナルカラデアル。

適當ナ相續法ヨリ生ズル大ナル結果ノ一ツハ政治ニ對スル態度ノ變化デアル。即チ確カニ人民ノ大團體ヲ構成スル民衆一般ノ味方ヲシ様トスル態度デアル、記憶出來ナイ程ノ昔カラ民衆ハ政府ヲ目シテ唯費用ノカカル制度トシテ居ル。政府ハ之ヲ維持スルタメ何物カラ必要トスル。——然カモ其レハ費用ナノデアル。此ノ費用ハ止ムニ止マレヌ惡ト思ハレテ居タ。人々ハヨクアル様ナ不平ヲ云ツタリ言ハレタリシテ支拂ツタ。實ニ課稅ハ政府ノ有スル武器デアツタ。政府ハ人民ニ課稅シタ。而シテ人民ハ支拂ハネバナラナイノデアル。

少數者ノ中ニ落テル政權ハ彼等ニヨリテ自己ノ利益ノ爲メニ行使サレタ。彼等ハ特權ノ防禦物トナツタ。既ニ防禦ス可キ權利ヲ有スル人及ビ特權ヲ獲得スルコトヲ望ム人ハ政治ニ關係シ此レヲ統御シ指導スルコトヲ識ツタ。民衆ハ税金ヲ支拂ヒ乍ラ漸ク次ノ感情ヲ懷ク様ニナツタ。即チ此等ノ税金ハ政府ヲ維持スル爲メニ支拂ハレルノデアル。而シテ政府ノ主タル職能ハ特權者ヲ保護シ防禦シ其ノ犯罪ヲ援ケ剩へ人民ニ公債ヲ支拂ハシメルノデアル。歴史ヲ探ツテ見ヨ、然ラバ諸君ハ殆ンドスベテノ戰爭ト反亂トガ課稅即チ特殊ノ特權ニ對スル抗議ニ基ツクモデアルコトヲ發見スルデアラウ。近代ノ政治ヲ考察セヨ、然ラバ諸君ハ偏鄙ナ地方ノ選舉デモ此ノ勝敗ノ依ツテ係ル論點ハ課稅問題デアルコト又合衆國ニ於テ最近五十年間ノ最大ナ國民的問題ハ、關稅(Tariff)ト稱セラレル間接稅ノ問題ノ周圍ニ集中

シタ事及ビ民衆ハ常ニ果シテ課税ヲ増加スルカ或ハ減少スルカヲ信ズルコト如何ニヨリテ公務員ヲ選舉シタリ排斥シタリスルコトヲ知ルデアラウ。更ニ此レヨリ深刻ニ探查シテ見ヨ、然ラバ諸君ハ人々ガ自己ノ財産ニ就イテ税吏ニ虚ヲ言ヒ又課税ヲ免レムガ爲メ富ヲ隠スコトヲ見出スデアラウ。

課税ト關係ヲ有スル或ル一般ノ原理ガ不正デアルト云フコトガ眞實デナイトスレバスベテ此等ノ事實モ眞實デアラウ。

人ハ本性ニ於テ正直デアル。故ニ此等ノ課税ヲ免レムトシテ反覆シ且ツ一様ナ方法ヲ爲サレル計劃ハ或ル全體ノ組織ニマツハル根本的ニ不正ナモノヲ眞ニ示スノデアル。實ニ此ノ組織ニ依ツテ政府ハ市民ノ經費トナルト共ニ特權者ノ財實ヲ維持スルノデアル。

余ハ宣言スル。政府ハ經費其ノモノトナツテハナラヌ。寧ロ各市民ニ對シテ利得ノ源タル可キモノデアル。

相續財産ガ政府ニ復歸スレバ此ノ状態ガ生ズル。前代ノ剩餘財産全部カラ得ラレル此ノ財産ハ長ク政府ノ通常經費ヲ支拂フノデアル。一九一六年ノ合衆國政府ノ通常支出總額ハ、七億二千四百四十九萬二千九百九十八弗デアル。余ハ他ノ場合デ百萬弗ヲ超エル相續財産ヲ收納スレバ一年十億以上ノ高ヲ生ズルコト(原著、p. 18, note 1)且ツ若シ相續財産ガ全ク許サレナカッタナラバ歳入ハ毎年四十八億ニナルコトヲ示シタ。(Preface p. 18, note 3)何レノ場合ニ於テモ(恐ラク保守的ナ手段ハ兩極端ノ中

間ニ介在スルデアラウ) 政府ノ處分權限内ニ在ル額ハ遙カニ通常ノ要求ヲ超過スル。其故ニ道路ハ築カレルシ、公共ノ建築物ハ設ケラレ、養老金制度ハ定メラレ、病院ハ管理セラレ、衛生方法ハ採用セラレ其上若シ希望スルナラバ單ニ市民ナリトノ理由ノミデ何等他ノ社會的理由ナクシテ各市民ニ現金ガ支拂ハレルノデアアル。而シテ同胞ト共ニ過去ノ全財産ニ對スル共同相續人トナルノデアアル。

歲入ハ政府及ビ社會的大改良ノ費用ヲ償フニ足ル許リデナク人類ノ富モ増加スルト共ニ又其レハ斷ヘズ増加スル性質ヲ有スルモノデアアル。大キナ相續財産ハ社會ニ吸收セラレル時減少スルニ至ルノダト假定スルノハ、次ノコトヲ反省セズシテ下シタ判斷ニ過ギナイ。即ハチ斯ノ如ク吸收サレタ財産ハ破壊サレズシテ再ビ世界ノ產業界ニ於テ其ノ役目ヲ果スノデアアル。否以前ニ演ジタヨリモ一層大イナル役目ヲ果スノデアアル。

財産ノ性質ニ關スル此ノ誤解ガ何等其ノ財産ニ對シ正當ナル權利ヲ有セザル人々カラ之ヲ取り去ラントスル改革案ノ效果ニ就イテ數多ノ熱心ナル人々ヲ失望セシメルノデアアル。此ノ恐怖ハ奴隸ヲ目的トスル財産廢止ニ關係シテ感ゼラレタノデアツタ。資本ニ見積ツテ四十億弗ノ價值ヲ有スルモノガ奴隸解放令(Emancipation Proclamation)ニ因リテ破壊サレタト稱セラレテ居ル。然シ實際ノ處、眞ノ財産ハ全ク破壊サレテ居ラナイノデアアル。蓋シ勞働力カラ成立スル眞ノ財産ハ黑人ノ手足ニアツ

タ。而シテ此ノ眞ノ力ハ其ノ力ニ對シ權利ヲ有セザル人々カラ眞ノ權利者ニ移ツタニ過ギナカツタ。

扱テ相續人カラ國家ニ相續財産ヲ移轉スルコトハ購買力及ビ勞力ノ使用ト云フ點カラ見テ決シテ世界ニ對スル價值ニ影響ヲ及ボサナイデアラウ。斯ノ如クシテ獲得サレタ金ハ再ビ費サレルノデアアル。活動スル資本家ト労働者ノポケットノ中ニ進路ヲ見出スノデアアル。彼等ハ其レヲ食物、衣服、住居、奢侈ノ爲メニ消費スル。此ノ財産ハ現在ト同ジ産業ノ徑路ヲ辿ルノデアアルガ次ノ點ニ於テ著シク差違ヲ有スル。即チ自分自身ノ勞務ニ因リテ其レヲ取得スル權利ヲ有スル人々ノ財産中ニ速カニ入り來タルノデアアル。此等ノ人々ハ公平ナル競争ノ法則ニ從ツテ其レヲ獲得シ分配スルノデアアル。——此ノ競走タルヤ相續ニ因リテ齎サレタ不正トハ沒交渉デアアル。此等ノ人々ハ前代ノ人々ト同ジク富ヲ獲得スル。彼等ノ財産ハ少額ニ止ルデアラウ。併シ無數ニ多數ノ財産ガ存在スルコトニナル。以前ヨリモ勞務者ノ新時代ハ有望デアリ力強ク又成功ノ望ニ富ムモノデアアル様ニ其ノ財産總額モ遙ニ増加スルコトハ確實デアアル。

諸君ニシテ欲スルナラバ政府ハ經費ヲ要スルモノデナクテ人民ノ利得ノ淵源デアルト想像セヨ、——各個人ニ其ノ取ルヨリモ多クヲ與ヘル政府——個人ノ手中カラ投機、獨占、巨額ノ蓄積ヲ取り去ル政府——其ノ治下ニ於テハ貧困、幼兒ノ勞働、姦淫、不攝生、犯罪ヲ例外的状態トシ教育、公衆道德、公平ナル競争ヲ

以テ原則トスル政府。斯ノ如キ政府ハ忠義心、愛國心及ビ奉仕ノ精神ヲ人民ニ要求シ之ヲ贏チ得ナイデアラウカ? 而シテ此レハ世界ノ何レノ國ヲ問ハズ簡單ニシテ容易ナコトデアアル。併シスル政府ハ歷史上存在シナイ。

實際相續制度ノ廢止ハ萬能藥デハナイ。然シ其レハ必然的ナ條件デハナカラウカ? 我々ハ搖盪ノ時ニ平等ヲ以テ出發スルニ非ザレバ人生ニ於テ遂ニ機會ノ均等ヲ有スル事ガ出來ヌノデアラウ。

課 稅 ト 救 濟 策

(原著 pp. 243—247)

以上論述シタ如ク勞得セザル金ノ相續ハ法律的ニ不正デアアルシスノ如キ相續ノ巨大ナル範圍ハ國家ニ對スル重大ナル危機トナルノデアアル。

若シ此レヲ證明セムトシテ結局失敗スルナラバ余ハ讀者諸君ガ余ト與ミスルコトヲ願ハナイ。若シ余ガ論ジタ内容ニシテ部分的ノ眞理ニ過ギナイ様ニ思ハレルナラバ余ハ妥協ノ特權ヲ請ヒ願ハナイ。余ハ決シテ辯解ガマシイコトハシナイ。又寛仁ヲ望マナイ。余ガ云フタ所ノモノハ眞理デアアルカ然ラズンバ虚偽デアアル。若シ虚偽トスレバ余ハ諸君ニ最早前進シナイコトヲ願フ。若シ眞理トスレバ余ハ諸君ニ終リ迄從ハム事ヲ望ムノデアアル。

勞得セザル金ハ其ノ反對デアアル不相當ナ貧苦ノ直接ニシテ疑

フベカラザル原因デアアル。不合理ナ貧苦ハ勞得セザル金ヲ獲得
スル力ガ根本的ニ顛覆スル迄ハ決シテ止マナイデアラウ。

併シ現在特權制度ノ辯護者ハ諸君ニコレハ出來ナイ相談ダト
語ルデアラウ。勞得セザル金ト勞得シタ金トハ分離スルコトガ
出來ナイ。其故ニ吾人ニ取ツテ可能ナ最上ノ方法ハ出來得ル限
リ此ノ害惡ト妥協シ之ヲ制御シ且ツ免ル可カラザル苦難ヲ軽減
スル爲メニ寛大ナル人心ニ信頼スルコトニアル。

余ハ敢テ云フ。働カズシテ金ヲ獲得スル特權ハ全ク破壊スル
事ガ出來ルシ且ツ將來破壊セラルデアラウ。勞得セザル金ハ勞
得シタ金ト積極的ニ同視スルコトモ出來ルシ區別スルコトモ出
來ル。完全ナ分離ノ日ハ近キニアル。他ノアラユル種類ノ不勞
所得金ニ就イテノ問題ハ他ノ著書ニ之ヲ譲ル。從ツテ本書ニ於
テハ相續ノミニ限ラザルヲ得ナイノデアアル。既ニ示シタ様ニ此
ノ勞得セザル富ノ形式ハ惠マレタル者ノ側ニ於テ何ニモ類廢セ
シメ得ルコトガ可能デアアル要素ヲ示サナイ。其上其レニ對スル
請求ハ彼ニ依ツテ爲サレナイシ又彼ニ對シテモナサレナイノデ
アル。尠クトモ此ノ點ニ於テ相續ハ他ノ至テノ勞得セザル富ノ
形式トハ異ナルノデアアル。蓋シ此等ハ唯功ナク又功積ニ對スル
請求ナクシテ獲得セラレタル惠與ニ過ギナイ。尠クトモ此ノ場
合、勞得シタ者ト勞得セザル者トノ間ニ明確ナル線ヲ引カネバ
ナラヌ。蓋シ相續ハ悉ク勞セズシテ所得シタノデアアルカラ。

相續ノ特權ヲ破壊スル爲メニハ革命ヲ必要トシナイ。又或ル

新シキ政治ノ形式ヲ制定シタリ或ル新シキ憲法上ノ權力ノ援助モ必要デナイ。内亂モ血ノ滴ルギロチンモダイナマイトノ様ナ議會モ要ラナイ。其ノ手段ハ必要ガ明白ニ示ス様ニ至極便利デアアル。即チ課稅デアアル。司法卿「マーシャル」ハ「課稅ノ權力ハ破壊ノ權力デアアル」ト云ツタ。確カニ民衆ニ貧苦ヲモタラス特權ヲ破壊スル權力ハ唯ニ權力デアアル許リデナク政府ノ義務デアアル。

個人ガ勞働ニ基ヅク權原ヲ有セザル全テノ富ヲ收納スル政府ノ權利ハ、他ノ問題ガ理論上然カルガ如ク殆ンド議論ノ餘地ガナイノデアアル。若シ政府ガ各個人ノ努力ニ課稅セズシテ性質上全テノ民衆ノ共同財産ニシテ然カモ正當ニ分配スルコト能ハザル價值ヲ收納スルコトニ依ツテノミ自己ヲ維持スル根本原理ヲ採用スルナラバ産業ハ隆盛ヲ來タシ特權ハ頽廢スルノデアアル。働ク者ノ野心ハ實現サレ相續人ノ尊キ特權ハ愚行ヤ不正ノ埋沒セラルト共ニ消エ去ルデアラウ。願クバ吾人ヲシテ唯勞務ニ對スル報酬ト云フ立場ニ立チテ正當ニ且ツ正直ニ出發セシメヨ然ラバ勞得セザル富ヲ除去スルコトハ其ノ富ノ存在ニ伴フ恐怖ガ悲慘ナ事實デアアルカラシテ容易ニ問題トナルデアラウ。願クハ吾人ヲシテ吾人ノ精神カラ努力シテモ得ラレナイモノヲ求メル小サナ希望ヲ去ラシメヨ、然ラバ吾人ハ其ノ報酬トシテ吾人ノ苦難ノ現在ノ原因ヲ見ルデアラウ。ヤガテコレハ如何ニシテ救濟ス可キカラ明確ニ知ラセルノデアアル。然シテ其ノ自然的結果

シテ繁榮、平和、豊富ガ種々ノ程度ノ高低ヲ生ジツ、來タルノデアル。併シ最早死モ悲ミモ叫ビ聲ヲモ存在サセナイ程度ニ於テハアル。——蓋シ神ガ我等ノ内ニ來タリ永遠ノ王國ガ我等ノ内ニ來タルカラデアル。

昨夜余ハ本書ノ結論トシテ只今記シ終ヘテ情感ヲ熱心ニ記サウトシテ曉近ク迄書キ續ケタ。而シテ此レヲ書キ終ヘテカラ燈ヲ消シ夜ノ冷氣ノ中ニ元氣ヲ恢復スル爲メニ我家ノ玄關カラ戶外ニ歩ミ出タ。丁度月ノナイ曉デアツタ。雲ガ厚クカ、ツテ居ルノデ雲後ノ我が愛スル星ハアテモナク輝ク許リデアツタ。余ハ手探リシ乍ラ行ク余ノ手ヲ見ルコトガ出來ナカツタ。透徹シ難イ暗黒ハ萬物ヲ包ンデ居タ。空ハ地ト同ジク眞黒デ天地ヲ差別スル何ノ境界線モナカツタ。余ハ周圍ノ暗黒ヲ見ルト云フヨリハ寧ロ感ジ乍ラ夜ノ大彎曲ノ測リ知レザル中心ニ立ツタ。俄カニ東風ガ眼前ノ雲ヲ吹キハラツタ。ソシテ數個ノ小サナ星ガ暗黒ノ中ニ瞬キ初メ間モナク東ノ空ニ漲リ太陽ノ出現ノ先驅ヲ爲シタ穩カナ赫紅ノ中ニ消エ失セタ。光リガ強クナルト共ニ太陽ハソノ莊嚴ナ光輝ヲ厚イ陰鬱ナ夜ノ中ニ射シ込シテ、朝ガ來タ、莊嚴ニ、力ニ滿チミテテ、新シイ喜ビデー一杯ニナツテ!!

早朝ニナツタ!! 夜ハ明ケツ、アル!! 無智、貪欲、皮相ト特權ハ最早大地ノ主人デハナイ。

VIII. 結 論

(原著 pp. 253—264)

若シ我々が論理的デアアルカ、其レトモ正當デアアルカ、其ノ孰レカヲ望ムナラバ、次ノ結論ニ到達セザルヲ得無イノデアアル。即チ相續ハ特權デアツテ權利デハ無イ。又全ユル價值ハ、毎日民衆ニ依リテ創造セラレルカラ、此レヲ取得セムトスル當人ノ側ニ於テ勞務ヲ提供セズシテ獲得シタ財産ハ、必然的ニ勞務ヲ提供スル民衆ノ供給カラ取得シタモノデアアル。

財産ハ生ケル人ノ爲メニ存在シ、死セル人ノ爲メニ存在シ無イ。

死者ハ其レヲ使用スル事が出来無イ。

唯生ケル人ノミガ其レニ價值ヲ賦與スルカラ有シ得ルシ又有スルノデアアル。唯生ケル人ノミガ、創造セザル人々ニ依ツテ價值ガ取得セラレル時苦シムノデアアル。血液無キ死者カラ許サレタル、呼吸スル生者ノ權利ヲ侵害スルヲ得ル權威ハ必然的ニ無力ニシテ空虛デアアル。

既ニ父ハ死ムデ居ルノデ何ノ欲望モ力モ無イ。

息子ハ勞得スルモノニ對スル以外過去ノ財産ヲ取得スル權利ヲ有シ無イ。

相續人ノ原理ハ君主政治カラ派生シタモノデアアル。其レハ勞働ト勞得シタ資本ノ權利ヲ掠奪スルモノデアアル。其レハ、勞務ニ對スル報酬ト云フ永遠ノ原理ニ依リテ財産ヲ取得スル資格ヲ

與ヘラレタ處ノ生ケル人々ノ内ニ存スル財産支配權ニ矛盾スルモノデアアルシ又此レヲ否定スルモノデアアル。

相續制度ノ弊害ノ範圍ハ、最モ此レニ苦シム人々ノ心ノ内ニ於テモ信ジ難イノデアアル。蓋シ、悲慘ノ境遇ノ内ニ居テモ人ハ努力ニ依ツテ贏チ得タモノヲ現實ニ獲得出來ナカッタ單純ナル理由ガ、誰レカ他人ニ其レヲ與ヘタカラデアアルト云フ事ヲ了解シ無イカラデアアル。此ノ難問題ニ對スル他ノアラユル種類ノ解答ハ殆ンド不正手段ニ因リテ利得スル人々ニ依リテ爲サレルノデアアル。然モ非常ニ明白平明ニシテ議論ノ餘地ガ無イ眞實ノ解答ハ殆ンド閑却サレテ居ルカノ様ニ思ハレル。全ユル創造的財物ノ正確ナル量ハ、世界ニ於テ爲サレタ勞務ノ正確ナ計算ヲ示スノデアアル。勞得シタ各「ペニー」ハ誰レカニ依リテ得ラレル、蓋シ價值ハ決シテ失ハレル事ガ無イカラデアアル。勞得セザル者ニ支拂ハレル各「ペニー」ハ、勞得スル人々ノポケットカラ直接ニ取ラレルノデアアル。相續人ハ他人ヲ害スルコトナシニハ財産ヲ受ケルモノデハ無イ。彼等ガ受ケル各弗ハ、勞働ト獲得シタル資本カラ直接ニ略奪シタモノデアアル。此ノ掠奪ヲ最モ悲慘ナラシメルモノハ、特權ヲ有セザル者ト相續セザル者トガ彼等ノ不幸ノ原因ニ就イテ無智デアアル事デアアル。彼等ハ、或ル子供ガ勞得セズシテ一億弗ヲ相續スル時、其ノ財産上ノ特權ノ存在スル限リハ彼等ガ其ノ各弗ヲ高イ物價ト低イ賃銀デ支拂ハネバナラス事ヲ知ラ無イ。

過去一世紀ノ間ニ於ケル奇蹟ヲ超越スル様ナ驚ク可キ程度ノ物質的進歩ヲ以ツテシテモ、猶吾人ハ辛ウジテ生存シ得ルニ過ギヌ賃銀、工場ニ勞働スル婦人小供、長屋ノ内ニ鼠ノ様ニ死ヌ幼兒、足械ヲ掛ケラレテ監禁サレテ居ル世界ノ勞働者ノ精神ト身體ヲ見ルノデアル。

我々ハ暴力無クシテ正義ニ到達シ得ル簡單ナル方法ヲ知ラ無イデ、必死ノ境ニ迄逐ヒツメラレタ大人ト小供デ充滿スル牢屋ヲ見ルノデアル。我々ハ絶望シタ者ヤ裏切ラレタ者デ一杯ニナツテ居ル娼家ヲ見ルノデアル。我々ハ、不平等ナ鬭争ノ爲メニ勇氣ト健康ヲ失ツタ男女ノ群集ヲ最大限度迄收容スル養育院ト精神病院ヲ見ルノデアル。我々ハ所有スル少額ノモノヲ失フ事ヲ恐レテ現状ヲ維持シ只管ニ世ノ所謂「富者ノ少サナ兄弟タルノ關係ニアル地位ヲ維持スルニ勉メル處ノ少財産ヲ所有スル男女ノ一團、専門的職業ヲ有スル人々ノ群、威嚴ト博識ヲ有スル人々ヲ見ルノデアル。而シテ全テノ内、最モ恐ル可キ事ハ、比較的少數ノ富者以外(怠ケテ暮ス富者ヲ除外ス)ノ全テノ者が吾人ノ設ケタ恐ル可キ制度ノ犠牲トナラザラムガ爲メニ苦惱ト心配デ引キ裂カレテ居ルノヲ見ル事デアル。更ニ、神經衰弱、消化不良其他長座ノ習慣ト精神ノ緊張カラ生ズル無數ノ疾患ガ彼等カラ彼等ガ所有スル様ニ思ハレル財産の利益ノ眞實ニシテ恒久的ナ價值ヲ奪フ事サヘシタノデアル。

併シ民衆ヨ!! 大地ハ猶若ク、神ノ恵ハ來タルニ違イ無イノ

デアル。世界開闢後ノ數萬年ト比較スル時、此ノ二千年間ニ於ケル自由ノ叫ビハ、恰モ青年ノ發達シタ喉ニナラウトスル活潑ナ少年ノ叫聲ニ似テ居ルノデアル。我々ハ過去ノ野蠻狀態ヲバ永遠ニ今日ノ日記帳カラ昨日ノ終了シタ歴史ニ移ス進歩的ナ時代ノ敷居ニ立ツノデアル。然モ、我々ハ此レヲ欲シテ初メテ、時代ノ要求ニ相應スル勇氣ト相續セザル者及ビ壓迫サレタ者ノ叫ビ聲ヲ感ズル耳ト心ヲ以ツテ漸次社會狀態ヲ分析シ具體的行動ノ方向ヲ決定スルニ到ルノデアル。

相續制度ノ弊害ニ關スル範圍ニ於テ、自由ニ到ル道ハ市場ニ到ル道ト同ジク至極明白デアル。相續ノ習慣ハ權利ニ基カズシテ特權ニ基ズイテ居ルノデアルカラ、此ノ特權ガ相續人カラ即時且ツ全部取り去ラレル事ハ極メテ適當ナノデアル。然シ乍ラ此ノ弊害ガ我等ノ間ニ於テ、長ク認メラレ又許サレテ居ルト云フ事實ハ、我等ガ除々ニ相續ノ發達ヲ防止シ且ツ將來ノ權カヲ制限シテ進ム可キデアル事ヲ示ス様ニ思ハレル。我々ハ其レニ就イテ發セラレタ立憲的ナ義務ニ留意セネバナラス。我々ハ出來得ル限り次ノ事實ニ注意セネバナラス。即チ社會ヲ革正スル手段ハ、一方ニ於テ其ノ制度ガ吾人ノ上ニモタラス最モ恐ロシイ弊害ヲ充分矯正スルニ適スルト共ニ、他方ニ於テ自己ノ缺點ニ非ズシテ現存スル制度ノ缺點ニ依リ其ノ勞働能力ガ萎縮シタ處ノ現在ノ生ケル人々ノ生活資料ヲ奪フ様ナ過激手段デアツテハナラス。

此ノ理由ノ爲メ吾人ガ目下論ズル相續制度ノ廢止ハ、如何ナル場合ニ於テモ妻及ビ寡婦ノ權利ニ適用シテハナラ無イ。又、二十五歳ニナル迄子供ヲ扶ケル爲メノ準備ヲセネバナラス。其他現代ニ相當ナル高ノ相續財産ニ影響ヲ及ボシテハナラ無イ。

「相當ナ程度ノ富」トハドノ位デアルカ?

若シ吾人ニシテ父ガ息子ニ權力ヲ遺ス事ヲ許サレネバナラストスル原理ヲ建テムトスルナラバ、吾人ハ此レニ何等制限ヲ置ク事ガ出來ナイ。斯クノ如キ要求ヲ満足サセル爲ニハ、如何ナル高ノ金ト雖充分デ無イ。又如何ナル額モカ、ル原理ニ基イテ與エラレテハナラ無イノデアル。

若シ吾人ニシテ、父ガ子ニ奢侈ヲ遺ス事ヲ許サレネバナラストスル原理ヲ建テムトスルナラバ、茲ニ矯正スル爲メニ提出シタ弊害ハ猶存續スルデアラウ。蓋シ、其ノ必要トスル額ハ莫大デアリ且ツ相續人ノ趣味ト愚事ニ伴レテ變化シ確定シ難イカラデアル。

然シ乍ラ、若シ吾人ニシテ唯息子ニ其ノ保護ト教育ニ充分ナル額ヲ遺ス事ヲ望ム親ノ正直ナ目的ニ應ゼムトスルナラバ、問題ハ極メテ簡單ニナル。其ノ必要トスル額ハ、假令、自由ニ定メルトスルモ比較的ニ少額デアリ且ツ容易ニ到達スル事ガ出來ルノデアル。

適當ナ高ノ相續財産ヲ構成ス可キ正確ナ額ハ、相續ノ時期ト事情ニ從ツテ變化スルノデアル。余ハ本書二十八章ニ於テ、各

相續人ニ最大額トシテ百萬弗ガ許サレル場合ニ、合衆國政府ニ生ズ可キ歳入ノ額ト全然相續ガ許サレザル場合ニ政府ニ生ズベキ額トヲ論ジタ。

而シテ姑息的ナ數額ガ恒ニ此ノ兩端ノ中間ニ介在スル事ヲ暗示シタ。余ハ此處ニ余ノ個人的意見ヲ加ヘル。即チ、十萬弗ノ額ハ毎年少クトモ四千八弗ノ確實ナ收入ヲ生ズルノデアル。而シテ其レハ現在ノ生活費カラ見テ、多數ノ労働者ガ受ケル額ノ四倍以上アルノデ、裕ニ各人ヲシテ氣樂ニ生活サセルノニ足ルノデアル。其故ニ余ハ金額ヲ決定スル事ヲ需メラレルナラバ、此ノ數ヲ十萬弗ニ定メ度イ。而シテ此ノ額ハ相續ヲ全廢スル時、到達スル正確ナル正義ノ原理ヲ人心ガヨリ多ク理解シ得ルニ連レテ、漸次累進率ニ從ツテ減ズ可キ性質ノモノデアアル。

然シ乍ラ、ヨシヤ各個人ノ相續ノ最大額ガ百萬弗ニ限ラレルトスルモ、直チニ起ル可キ貧苦ノ救濟カラ生ズル社會改革ハ、世界史上ニ於テ世界ノ進歩ト其ノ思想ニ影響ヲ及ボスコトガ偉大ナルコト當ニ、アメリカノ發見、十九世紀ノ發明ニ比較ス可キ時代ヲ作ルデアラウ。本書ノ末尾ノ記載ト十八頁ノ「脚註」ニ示シタ數字ヲ公平ニ檢査スレバ、以上ノ言ガ誇言デ無イ事ヲ公平ナ觀察者ハ納得スルデアラウ。

妻ハ夫ノ共同者ト考フ可キモノデアツテ、少クトモ彼女ガ現在占有スル相續財産ノ全部ヲ特權トシテハ無ク當然ノ權利トシテ受ケル資格ガアルト思フ。自然ハ、妻ガ獨立ノ生活ヲ得ル

ト同時ニ家族ノ世話ヲスル事ヲ不可能ナラシメル様ニ、婦人ノ任務ヲ事物ノ秩序ノ中ニ配置シタノデアアル。故ニ社會的ノ理由デ政府ガ一男一女ノ間ニ立ツテ、婦人ガ必然的ニ男子ノ經濟的依賴者トナル契約ニ同意シ之ヲ是認スルナラバ、引キ續キ其ノ效果トシテ政府ハ將來ノ適當ナ準備ヲ婦人ニ對シテ保證スル事ニナル。

同ジ理由デ小供等ハ、生ケル兩親ガ斯ノ如キ扶養ヲ爲スノガ習慣デアアル年迄同一ノ資金デ扶養サレネバナラ無イノデアアル。多クノ場合ニ於テ、生ケル兩親ノ扶養ハ、十歳或ヒハ十二歳カラ十六歳ニ到ル小供カラデモ、若シ此等ノ年少者ニシテ完全ナ技術的、職業的教育ヲ修得スル時、必然的ニ停止スルノガ眞實デアルト共ニ、通常年少者ハ他ニ扶養手段無クシテ、二十二歳或ハ、二十五歳ノ年齢ニナルノデアアル。政府ハ二十一歳ヲ以ツテ未成年ノ度限ト認メル。此ノ時ヲ標準トシテ父ノ扶養ノ責任ハ若シ生キテ居ツテモ消滅スルノデアアル。然シ乍ラ、専門的研究ト職務ヲ有效ニスル爲メ幼少カラ訓練スル事ニ就イテ次第ニ増加スル要求ハ、兩親ガ生キテ居レバ此ノ目的ノ爲ニ與ヘタニ違ヒナイモノト等シイ扶養ヲ男子女子ニ與ヘル事ガ得策デアアルヲ示ス様ニ思ハレル。廿五歳ヲ過ギテ猶扶養スル事ハ、今日殆ンド全テノ場合ニ於テ有害デアツテ是非トモ撤去セネバナラ無イ。

生理的ニ缺陷アル者ニ對シテモ亦準備ヲセネバナラ無イ。而

シテ余ノ意見ニ依レバ、貧者ハ斯ノ如キ場合、國家カラ非常ニ不適當ナ扶養ヲ受ケネバナラヌノデアルガ、兩親トシテノ人情カラ生ズル責任ハ兩親ニ次ノ保證ヲ與ヘルノガ正當ニシテ賢明デアルト云フノデアル。即チ彼等ガ世ニモタラス子供ハ生理的ニ缺陷ガアルトシテモ病弱ノ場合ニハ、出來得ル限リノ親切ト同情ヲ以ツテ看護サレルト云フ保證デアル。

余ノ第三ノ見地、即チ相續財産ハ、特權ヲ有スル相續人ニ對シテ此等ノ息子、娘其他ノ直系相續人ノ各々ニ相當ナル可キ金額ニ限ツテ許スコシトスル議論ニ就イテ云ヘバ、此レハ大ナル力ヲ移轉スル特權ヲ與ヘ無イデ然カモ子供ノ將來ノ缺乏ニ備フルコトガ兩親ノ權利ダト信ズル人々ニ向ツテ讓歩スルコトデアル。六分ノ利デ確實ナ抵當證書ヤ證券ニ換ヘラレタ二萬五千弗ハ、一年二千五百弗ヲ生ズルデアラウ。而シテ此ノ金額ハ、充分ニ世界ニ生活スル各個人ノ要求ニ應ズルシ又、現在ノ多數ノ勞働者ノ毎年ノ賃銀ノ約三倍デアル。相續法ノ正當性ヲ主張スル如何ナル反對論者ト雖、此ノ新制度ガ餓死ト無智トラモタラスモノデアルト論ズル事ガ出來無イ。何故ナラ、現在ノ計劃デヨク爲シ得ル事ガ認メラレテ居ルカラデアル。何人ト雖、我々が世界ノ困苦カラ子孫ノ保護セラレルノヲ見様ト望ムデ發シタ兩親ノ固有ノ感情ヲ侵害シタト論ズル事ガ出來無イ。蓋シ、一年二千五百弗デ事足リルカラデアル。而シテ價格ノ正確ト云フ事ハ、重要ナ點デハ無イ。十萬弗否百萬弗ノ最大限度ヲ以テシ

テモ尙驚ク可キ結果ヲ成就スルデアラウ。

此處ニ提出シタ計劃ニ對スル唯一ノ可能ナ反對論ハ子孫ニ奢侈ヲ與ヘタリ或ヒハ經濟的ナ力ヲサ遺ウトスル兩親ノ權利ヲ主張スル人々デアアル。而シテ、此等ノモノニ對スル相續人ノ請求權ハ不合理極マルモノデアツテ此レニ基ヅク議論ハ不必要デアアル可キ筈デアアル。實際本問題ノ重要ナル意義ニ就イテノ人類ノ一般的ナ無智ト云フ事サヘ無クバ、確カニソウナノデアアルラウ。

.....

此ノ新シキ天ト地ノ幻影ハ果シテ夢デアルカ? 余ハサウトハ思ハ無イ。蓋シ若シサウトスルナラバ、アラユル時代ノ歌ハ鳴ヲ靜メテ沈黙スルシ、現在生存シ將來キタル可キ幾百萬ノ民衆ノ希望ハ永遠ニ彼等カラヒキ擡ハレテ仕舞フカラデアアル。今日天ノ王國ガ我等ノ内ニ在ル事及ビ「御心ノ天ニナル如ク地ニモナサシメ給ヘ」ト云フイエスノ祈リガ決シテ愚カニ爲サレタモノデモ無ク、又比喩的ニ爲サレタモノデモ無ク、積極的ニ答ヲ豫期シテ爲サレタ祈リデアアル事ヲ信ズル無數ノ群衆ガアル。又世ニハ斯クノ如ク信ズル勞苦ニツカレ果テタ男女ガ語り盡サレ無イ程多數アル。即チ「彼等ハ建テズ而シテ他ノ人ハ住ム。彼等ハ植エズ而シテ他ノ者ハ食フ」ト云フ事及ビ大地ハ人類ノ子供等ノ爲メ各々が勞苦ノ充分ナル結果ヲ享有スル様ニ作ラレタノデアツタ。ソレデ全テノ者ハ、晨ニ歌ヒ乍ラ勞働ニ行キ、夕ニハ心カラ笑ヒツツ幸福ナ家庭ニ返リ星ノ照ラス暗黒ノ中ニ平和ニ座

リ胸ノ内デ天ノ大衆ノ歌ニ對シテ「ハレルヤ、主ナル萬能ノ神ガ治メ給ヘバナリ!!」ヲ繰リ返ス事ガ出來ル爲メデアル事デア
ル。

猶此等ノ者ノ外斯クノ如キ無數ノ婦人、小供、老人ガ居ル。彼等ハ蒸シ臭イ長屋ノ中デ喘ギ、汚イ有毒ナ食物ノ犠牲者ト共ニ安價ナ墓穴ヲ滿タシテ居ル頼リ少キ貧困ノ状態ニ泣キ、男女ノ子供ヲ學校カラ引キ離シテ、他ノ小供ガ相續スル數百萬弗ノ爲メニ恐ロシク勞苦セシメ、又無慈悲ニモ青年男女ヲ驅ツラ死ヨリモ惡イモノニ赴カシメルノデアル。此等ノ人々ハ、今日考ヘ感ジ而シテ行フ強イ精神ノ所有者タル諸君ニ對シテ、以前ニ見ザル程度デ諸君ノ人格ト名譽ニ掛ケテ奮起シ彼等ノ肩上カラ不合理ナ貧苦ノ恐ル可キ夢魔ヲヒキ離サム事ヲ熱叫スル。蓋シ、強者タル諸君ハ弱者ノ重荷ヲ負擔セネバナヌ。賢者タル諸君ハ無智ナ者ノタメ鬭争ヲセネバナラス。

諸君ノ心ニ住ム王者ガ、「汝我ガ父ニ祝福サレタル者ヨ、來リテ世界ノ創メヨリ汝ノ爲メニ用意シタル王國ヲ繼ゲヨ、蓋シ余ガ飢エシ時汝ハ余ニ食ヲ與ヘ、余ガ渴キシ時汝ハ余ニ水ヲ與ヘ余ガ異邦人ナリシ時汝ハ余ヲ宿ラシメ、余ガ裸ナリシ時汝ハ余ニ衣ヲ與ヘ、余ガ病ミシ時汝ハ余ヲ見舞ヒ、余ガ囚ハレシ時汝ハ余ノ許ニ來タカラデアル」ト云フ時ニハ、他ノ如何ナル善惡ガ諸君ニ來ルトスルモ何カアラムヤデアル。其時、諸君及ビ諸君ト共ニスル人々ハ云フデアラウ。「主ヨ、何時我々ハ主ノ飢エ

シヲ見テ食ヲ與ヘ、渴キシヲ見テ水ヲ與ヘ、異邦人トナルヲ見
テ宿ラシメ、裸ナルヲ見テ衣ヲ與ヘ、病ミ囚ハレルヲ見テ主ノ
許ニ訪ネタノデアルカ？」其時王者ハ汝ニ答ヘテ云フデアラウ。
「誠ニ我汝ニ云ハン、我ガ兄弟ヨ、此等ノモノノ内イト小キ者ニ
モ此レヲ施シタダケ汝ハ其レヲ我ニモ施シタノデアアル。」(完)